

日本卸売学会 令和元年度 第1回研究例会

【日時】 令和元年11月30日（土） 13:30～17:55

【会場】 慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 421 番教室

【統一テーマ】 『SDGs 時代における企業経営』

【実行委員長・コーディネーター】 高橋郁夫氏（慶應義塾大学教授・日本卸売学会副会長）

【プログラム】

13:30～13:40 開会のご挨拶と解題 高橋郁夫氏

<統一論題：SDGs 時代における企業経営>

13:40～14:10 「卸売業としての我社のSDGs への取り組み」

国分グループ本社株式会社 執行役員 相澤正邦氏

14:15～14:45 「フードロス対応における国際動向 –SDGs 時代におけるフードサプライチェーンの課題として–」

愛知工業大学教授 小林富雄氏

14:50～15:20 「SDGs への取り組みと企業経営 –鍵を握るミレニアル世代の動向–」

株式会社野村資本市場研究所 研究部主任研究員 林宏美氏

(休憩)

<自由論題研究報告>

15:35～16:05 「日本の食品小売市場はなぜいかにして多様性を維持できるのか」

法政大学教授 横山斉理氏

16:10～16:40 「ボランタリーチェーンの情報の活用とリテールサポート」

全日本食品株式会社 代表取締役会長 齋藤充弘氏

(休憩)

<学生セッション>

16:50～17:15 「SDGs 時代に期待される中小企業の働き方改革 –女性活躍の視点を中心に–」

関東学院大学 福田敦研究室

17:20～17:45 「企業のSDGs への取り組みが消費者行動に与える影響 –消費者と共創する持続可能な社会に向けて–」

慶應義塾大学 高橋郁夫研究室

17:45～17:55 閉会のご挨拶 宮下正房氏（東京経済大学名誉教授・日本卸売学会会長）